

株式会社 アルシュ arche

arche Journal



アルシュ ジャーナル

## 住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報を まとめてお届けします！！

### 目次：

ジャックランタンは  
何故カボチャ？ 1

話題の“新”国立競技場  
2020年 東京オリンピックに向けて 2

縁側  
～日本特有の曖昧な空間～ 3

主婦の味方『パントリー』 3

超巨大集合住宅？！  
シャカイハタオりの家 3

アルシュの施工事例紹介  
～Mマンションリニューアル工事～ 4

朝晩は涼しくなり、随分秋めいてきました。

「暑さ寒さも彼岸まで」とはいえ、気象庁の発表では、10月も例年よりは暑くなるようです…。なんと、今年の夏は、西日本で史上最も暑い夏だったそう！！

10月と言えば、衣替えに運動会、秋祭り…たくさんのイベントがありますが、やっぱり10月のイベントと言えば『ハロウィン』を思い浮かべる方も多いのでは？ 街では9月ごろから、ハロウィン一色でしたね。

ハロウィンの飾りって、種類も豊富で、なんだか大人でもワクワクしますよね♪

ハロウィンといえば、10月31日。そのハロウィン、実は正確には、10月31日～11月2日の間、行われるイベントだと言うのをご存知ですか？

私たちが「ハロウィン」と言っている日は“ハロウィン・イヴ”だったみたいですね。

### ★ アルシュの窓 ★ テーマ：ハロウィン

アルシュのディスプレイもハロウィン仕様に♪



## ジャックランタンは何故カボチャ？



カブ味じゃなくて、よかった…(笑)

10月といえばハロウィン。ハロウィンといえば、ジャック（オー）ランタン！ハロウィンでは定番の飾りです。このランタンなぜカボチャなのかご存知ですか？実は、このジャックランタンは、元々カブのランタンだったようなのです！アイルランドやスコットランドには、生前に墮落した人生を送った者の魂が、死後の世界へ立ち入りを拒否され、悪魔にももらった火種を、羨びて転がっていた“カブ”に入れて彷徨って

いる。という言い伝えがありました。この言い伝えがアメリカに伝わり、生産量が多かったことからカボチャに変化していきました。アイルランドもカボチャを使用するようになりましたが、スコットランドではまだカブが使われています。カボチャ自体には深い意味はなかったのですね（^^；でも、もしランタンがカブのままだったらハロウィン限定のお菓子は、パンプキン味じゃなくてカブ味だったかも・・・？！



## 話題の“新”国立競技場！！ 2020年東京オリンピックに向けて

9月8日、2020年のオリンピックとパラリンピックの開催都市が東京に決定しました！！

1964年以来、東京での開催は、実に56年ぶり！オリンピック開催となれば、やはり経済効果が期待されますよね。

開催が決まってから、各メディアで取り上げられているのが『新国立競技場』の話題。

1964年の東京大会で、開会式が行われた国立霞ヶ丘競技場が、メインスタジアムとして生まれ変わります。

国が、総工費1300億円をかけて、改築する予定だとか・・・。

### 国立競技場の改築に向けた、「新国立競技場基本構想国際デザイン・コンクール」



テレビなどでご覧になった方も多いはず！この新国立競技場の改築案、2012年の国際デザイン・コンクールで、イギリスの建築設計事務所“ザハ・ハテッド・アーキテクト”の作品に決定。代表者のザハ・ハテッド氏は、イギリスの女性建築家。2004年に、建築界のノーベル賞といわれる名誉ある賞、**プリツカー賞**を女性で初めて受賞したことで知られています。

### 最終選考に残った、日本の設計事務所の作品！！

このデザインコンペ、46のプロジェクトの中から、11の作品が最終選考へと進みました。その中から受賞は3作品！

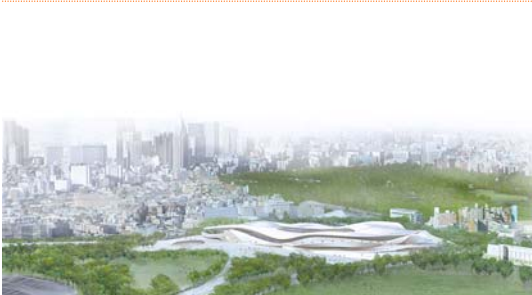
最優秀賞のザハ・ハテッド・アーキテクト。優秀賞（2位）には、オーストラリアの“**コックス・アーキテクチャー**”に。

そして、日本の設計事務所からも、“**SANAA+日建設計**”の作品が入選（3位）となりました。

また、惜しくも賞は逃したものの、日本人建築家、伊東豊雄氏の設計事務所の作品も最終選考まで残りました。

「やっぱり日本の作品が最優秀に選ばれて欲しかったな～」と思う方も多いかもかもしれませんね（＾＾）

最終選考に残った日本の作品の中から、SANAA+日建設計と伊東豊雄建築設計事務所の作品をご紹介します。



#### “SANAA”

SANAA（サナア）は、妹島和世氏と西沢立衛氏による建築家ユニット。国内外問わず、活躍しており、プリツカー賞や日本建築学会賞など多くの賞を受賞しています。妹島氏は、ザハ・ハテッド氏に続き、女性として2人目のプリツカー賞の受賞者です。

#### “伊東豊雄建築設計事務所”

伊東豊雄氏は、主に日本で活躍している建築家。東日本大震災後、宮城県の大規模住宅「みんなの家」プロジェクトが、話題になりました。2012年にはプリツカー賞にも輝いています。今回のコンペで入選したSANAAの妹島氏は、伊東豊雄設計事務所の出身なのだとか！



## 縁側 ～日本特有の曖昧な空間～



縁側に踏み石。思わず腰掛けて、お茶でも飲みたくなりませんか？

～サツキとメイの家～  
愛・地球博記念公園内

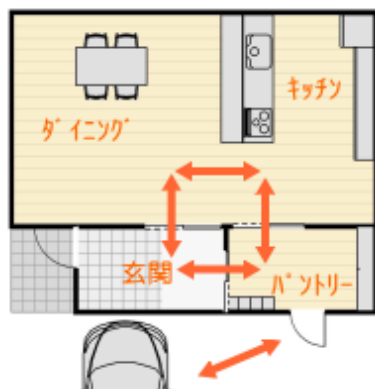
昭和の時代には、縁側に腰掛け美しい月を眺めながら、秋の夜長を楽しむ…なんてこともよくありました。今ではあまり見かけない光景ですよ。縁側には、暑い夏は日差しを和らげ、寒い冬は部屋の暖かい空気を逃がさないという効果があります。縁側は、冷暖房器具に頼ることなく涼や暖をもたらし、癒しを与えてくれるそんな場所なのです。欧米の家は、ドア1枚で、内と外がはっきりと区別されています。いつか紹介した引戸に代表されるように、日本の家には、その境界をあいまいにする空間が存在してきました。縁側も、そのひとつ。

一人になりたい時に、縁側に腰掛けてみたり。近所の人を訪ねて来た時には、お茶を飲みながらおしゃべりをするコミュニケーションの場に…（^^）家の中だけれど、“外のような空間”だからこそ、気軽に人を招き入れることもできるのです。そして家（内）にいながらでも、庭（外）を眺めて自然を感じることが出来る空間でもありますよね。私たちの暮らしや心にゆとりを与えてくれる、日本特有の曖昧な空間“縁側”。現代の住宅にこそ、こういう空間が必要なのではないでしょうか？

## 主婦の味方「パントリー」

パントリーとは、もともとホテルで食品やテーブルリネンなどを保管したり、配膳を行う場所でした。そんな“パントリー”。最近では住宅にも応用され、食品庫として活用されています。パントリーを設ける上でのポイントは動線！！玄関⇄パントリー⇄キッチン⇄リビングダイニングという風に、家事動線が上手くつながっているのが理想的な計画。この間取りなら、同じ所を通らずに部屋を一周できる回遊動線になり無駄がありません。また、玄関からだけでなく駐車場に勝手口を設け、外からも直接入れることができると、重い荷物をそのまま置いておけるので楽チンです。とりあえず荷物を運んでおいて、後からゆっくり中身

を片付けるなんてこともできますね。そして、パントリーの計画で特に重要なのは棚の計画！「何を収納するか」をよく考えて、自分好みのレイアウトをしっかりと計画しましょう。そしてパントリーにあると便利なアイテムが、センサー式のライト！スイッチ式だけだと、荷物で両手がふさがっていて、照明を着けることも大変…。でも、センサー式のライトがあれば、荷物を置かなくても照明がつくので便利です！あると便利なパントリー。でも、そんなスペースが無いという方は階段下やキッチンの角にできてしまうデッドスペースをうまく利用してみたいかがですか？ちょっとしたパントリーに生まれ変わりますよ♪



パントリーは間取りのポイント！  
回遊動線と勝手口で理想の動線に♪

## 超巨大集合住宅？！ シャカイハタオリの家

知らないと、絶対、鳥の巣には見えませんよね…。



<http://clarencenaturephotography.wordpress.com>

～動物たちの住宅事情パート2～

今回は“シャカイハタオリ”をご紹介します！シャカイハタオリとは、アフリカの南部の乾燥地帯に生息する、スズメの仲間です。そのシャカイハタオリの巣が、左の画像！そう。木の上の茶色い塊全部が、シャカイハタオリのお家なんですよ（笑）シャカイハタオリのお家のポイントは…

- 一戸建てではなく集合住宅タイプ
- 300～400羽以上が暮らしている
- 巣の重さが1トンになることも！！

日本で言うと、昭和期に多く建設された、マンモス団地のようなイメージですかね？

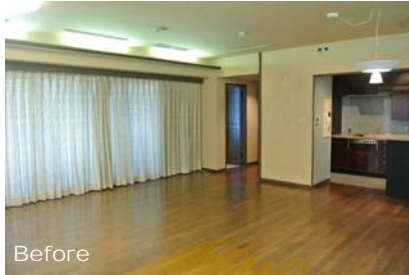
この大きさのメリットは何なのでしょう。ひとつは温度管理。アフリカの乾燥地帯は年間の最高気温が40℃、最低気温は-20℃と、過酷な環境。しかし、この大きな集合住宅は常時22℃前後に保たれているのだとか。また、出会いにも困らないそうです。さらに、何世代にも渡って同じ巣を使っていて、100年以上使われている巣もあるそうです！この大きさ故、毎日どこかが壊れているので、住民総出で年中『建設中』！シャカイハタオリたちは、日本が「200年住宅」の政策を打ち出すずっと前から、実践していたのですね。



## アルシュ施工事例紹介 Mマンション リニューアル工事 ～前篇～

築年数の経過した中古マンション。間取りは3LDK。4人家族のM様。間取り変更はほとんどせず、設備を少し入れ替えて、ご家族の好みに合わせて内装を新しくする、リニューアル工事です。  
(設計・監理：有限会社シーズプランニング一級建築士事務所)

なんとなく古いイメージの内装だったLDK。設備の入替は、システムキッチンと、エアコンのみ。クロス(壁紙)とフローリング(床)を貼りかえるだけで、ガラッと雰囲気が変わり、とても明るいLDKに生まれ変わりました。



Before



After



A



B



C

A-A' 元々あったカウンターを撤去し、フルオープンな対面キッチンに変更しました。  
B-B' キッチンのレイアウトを変更したことで、壁面には収納スペースを確保できました。奥には、奥様の為のデスクスペースも！リビングをシンプルな内装にしたので、キッチンの床は柄タイルでアクセントに。  
C-C' リビングは、シンプルな内装に。フローリングの色を、ナチュラルなタイプにした事で部屋全体が明るくなりました。



A'



B'



C'

次回(11月号)も引き続き、  
Mマンション リニューアル工事をご紹介します！！

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を、募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力を、お願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でEcoライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。

新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>

